

関係法 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 その他の諸法規 学習指導要領	目指す子ども像 ・資質・能力を身に付け、主体的に学び続ける子供 ・自他の良さを知り、協働できる子供 ・基本的な生活習慣を身に付け、健康や体力を増進する子供	学校教育目標 夢や目標をもち、主体的に学び続ける児童の育成	児童の実態 ・児童同士がよい所を見つけ合い、よりよい生活や人間関係を築こうとする態度が育ってきている。 ・上級生は、下級生に対して思いやりのある声かけをすることができる。 ・まじめで、ほとんどの児童がルールを守って生活できるが、主体的に活動する児童はまだ少ない。
--	---	--	---

生徒指導 豊かな心を育てるために家庭や地域、各専門機関との連携を密にした取組を推進する。 規範意識のある雰囲気をつくり、学級集団、学校集団を高める。 健康で安全な環境を守り高める。	各教科 各教科の目標達成の中で、課題をやりぬく態度や共に高め合う態度を育てる。 ○つけたい力を明確にした授業展開の工夫 ○基礎的・基本的な知識・技能の徹底した指導 ○学習規律の確立	特別活動の目標 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め自己実現を図ろうとする態度を養う。	道徳 ・家庭・地域との連携を通して、夢や希望を育み、郷土や国を愛する心情を育てる。 ・郷土を素材とした資料作りや、ボランティア活動・集団宿泊体験・自然活動体験との関連を図るなど、児童の発達段階や特性を考慮した創意工夫ある指導を行う。 ○ 勤勉努力 ○ 勤労奉仕 ○ 郷土愛・愛国心	外国語・外国語活動 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。 日本人としての自覚を持ち、世界の人と積極的に関わっていかうとする態度を育てる。	総合的な学習の時間 ・探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。 ・「ふるさと学習」を通して、郷土愛を育み、道徳的実践力を育てる。 ○甲山の自まを調べよう ○甲山を住みよい町にしよう(環境・福祉・防災) ○ふるさと世羅を発信しよう ○地域の文化を受継ごう
評価の観点 ○自分の意見と比べながら、相手の話をよく聞き、合意形成を図りながら活動できる。 ○係や集会など、自分の役割を責任をもってやることができる。		特別活動の指導の重点 児童のよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な活動を充実し、楽しい学校生活を創造する。 [育てる力] ○集団の一員としての自覚 ○自主的実践的な態度の育成 ○協力してよりよい生活を築く力			

学級活動 (目標) 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 (内容) [第1学年及び第2学年] 話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解すること。基本的な生活習慣や、約束やきまりを守るための大切さを理解して行動し、生活をよくするための目標を決めて実行すること。 [第3学年及び第4学年] 理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見を受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動するなど節度ある生活を送ること。 [第5学年及び第6学年] 相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、多様な意見のよさを積極的に生かして合意形成を図り、実践すること。高い目標をもって粘り強く努力し、自他のよさを伸ばし合うようにすること。	児童会活動 (目標) 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することにより自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 (内容) ①児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 ②異年齢集団による交流 ③学校行事への協力 1年：11時間 2年：11時間 3年：11時間 4年：11時間 5年：22時間 6年：22時間	クラブ活動 (目標) 異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することにより、自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 (内容) ①クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 ②クラブを楽しむ活動 ③クラブの成果の発表 4・5・6年(7時間)	学校行事 (目標) 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 (内容) ①儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。 入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式 ②文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。 学習発表会・輝かせらの学校文化発表会・全校かるた大会 ③健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。 交通安全教室・防犯教室・運動会・避難訓練・プール指導 ④遠足・集団宿泊的行事 自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるような活動を行うこと。 1年生を迎える会・修学旅行・「山・海・島」体験活動 ⑤勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。 クリーン大作戦・学級園での栽培
代表委員会活動 1・2・3 4・5・6年 (月1回)		委員会活動 5年：11時間 6年：11時間 児童会・環境・図書・保健体育	児童集会活動 全校集会 6時間 (クリーン活動1、ドッジボール1、大縄跳び1、6送会2)

(1) 学級や学校の生活づくりへの参画			
ア	学級や学校における生活上の諸問題の解決 [話し合い活動]	1年：8時間	2年：12時間
イ	学級内の組織づくりや役割の自覚 [係活動]	3年：9時間	4年：10時間
ウ	学校における多様な集団の生活の向上 [集会活動]	5年：9時間	6年：11時間
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全			
ア 基本的な生活習慣の形成			
イ	よりよい人間関係の形成	1年：15時間	2年：14時間
ウ	心身ともに健康で安全な生活態度の形成	3年：17時間	4年：18時間
エ	食育の観点で踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	5年：14時間	6年：17時間
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現			
ア	現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	1年：11時間	2年：9時間
イ	社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	3年：9時間	4年：7時間
ウ	主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	5年：12時間	6年：7時間

縦割り班活動
 異年齢集団でのよりよい人間関係や連帯感をはぐむために、児童会活動や学校行事その他必要な時に学級母体を離れ、1年生から6年生までを1グループに編成した縦割りグループを活用する。
 (縦割り班そじ、ドッジボール大会、大縄跳び大会、集会等)